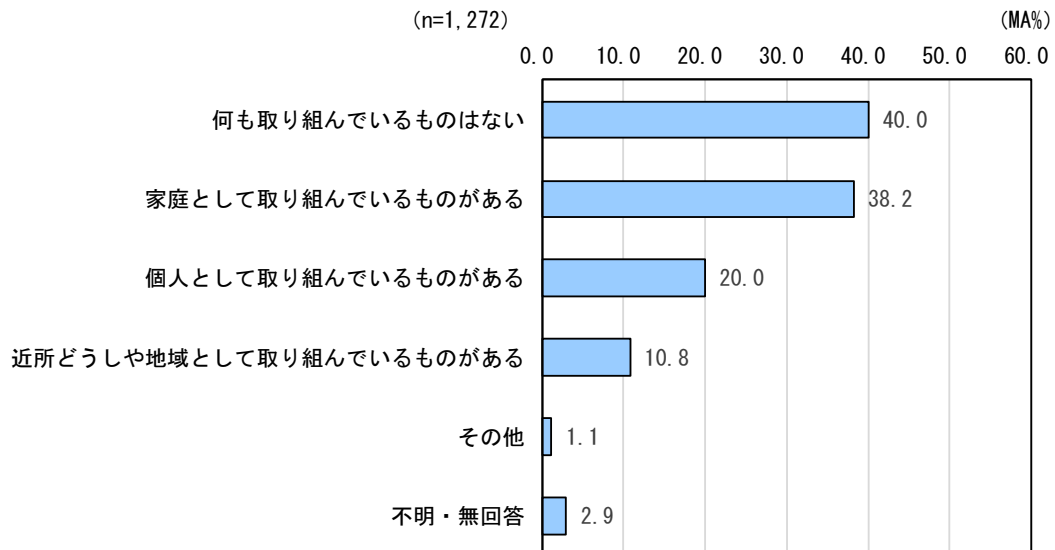


4. 「防災」対策として地域等で取り組んでいること

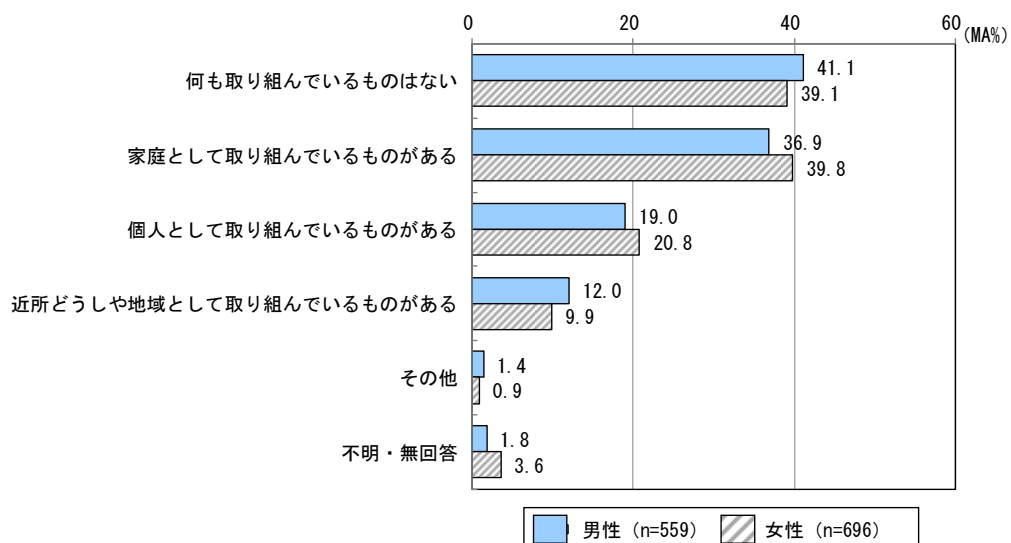
問4 「防災」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図4 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



- 「防災」対策として地域等で取り組んでいることについては、「何も取り組んでいるものはない」が40.0%と最も高く、次いで、「家庭として取り組んでいるものがある」が38.2%、「個人として取り組んでいるものがある」が20.0%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が10.8%となっている。(図4)
- 性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が41.1%と最も高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が39.8%と最も高くなっている。(図4-1)

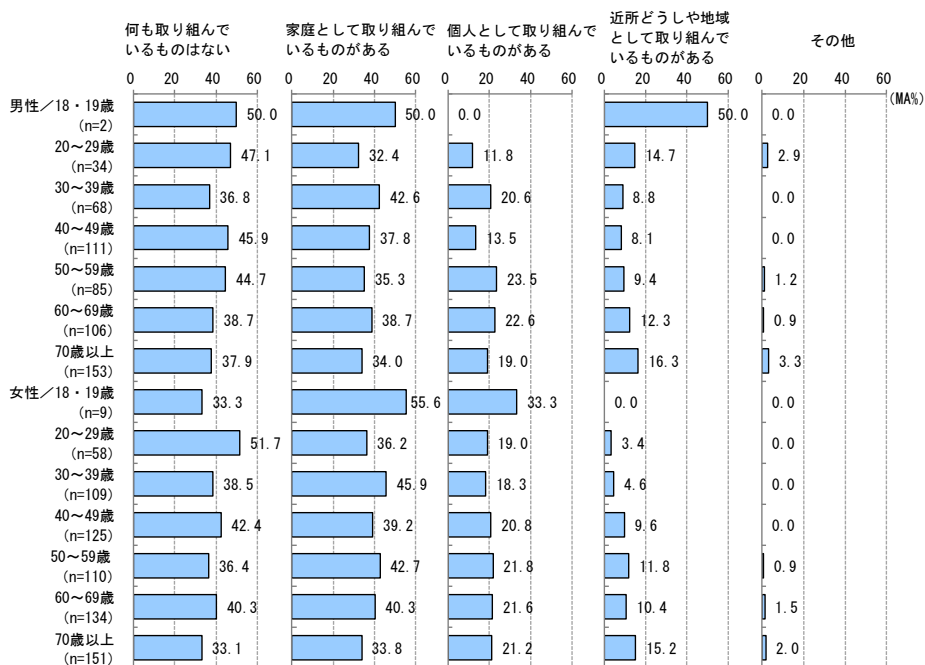
【図4-1 性別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●性年代別でみると、男性の18・19歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」が同率で50.0%と最も高く、20～29歳、40～49歳、50～59歳、70歳以上では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ47.1%、45.9%、44.7%、37.9%と最も高く、30～39歳では「家庭として取り組んでいるものがある」が42.6%と最も高く、60～69歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」が同率で38.7%と最も高くなっている。

女性の18・19歳、30～39歳、50～59歳、70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ55.6%、45.9%、42.7%、33.8%と最も高く、20～29歳、40～49歳では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ51.7%、42.4%と最も高く、女性60～69歳では「何も取り組んでいるものはない」と「家庭として取り組んでいるものがある」が同率で40.3%と最も高くなっている。(図4-2)

【図4-2 性年代別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮、志方では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ43.5%、40.7%、41.6%、40.6%、41.9%と最も高く、平岡、両荘、加古川西では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ41.3%、40.4%、40.9%と最も高くなっている。(図4-3)

【図4-3 居住地区別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】

